

財団法人阪大微生物病研究会観音寺研究所倫理審査委員会（第1回）議事要旨

日 時 : 2007年9月10日(月)18:00~19:20
 場 所 : 第1製造所会議室 105室
 出席者 : 高見沢委員長、田岡委員、廣畑委員、久保委員
 藤田委員、高橋委員

審査件数 : 1件 (承認1件)

議 事 :

- 高見沢委員が委員長へ選任され、藤田委員が副委員長に指名された。
- 審 議

下記申請研究課題1件について審議された。

- (1) 水痘带状疱疹ウイルス特異的細胞性免疫能の測定法に関する比較検討
 (申請者 : 医薬基盤研究所感染防御プロジェクトリーダー 森 康子)

審議結果	承 認
概 要	水痘带状疱疹ウイルスは、終生その宿主の知覚神経節に潜伏感染し、免疫抑制状態あるいは高齢化に伴って再活性化し带状疱疹を発症する。今回、带状疱疹再活性化と細胞性免疫能の相関性を検索するため健常人において皮内テストと ELISPOT 法による細胞性免疫能の比較を行う。 本研究において带状疱疹再活性化と相関する細胞性免疫能の測定法が確立されれば、带状疱疹の予防の手段として有用である。
主な審議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究担当者氏名 2. 研究目的と必要性 3. 研究方法 4. 研究対象者への説明、同意の取得 5. 個人の利益、不利益 6. 研究成果の公表と報告の方法 7. 研究資金の調達方法 <p>以上の事項につき審査し、計画書、依頼書及び同意書への下記事項の追加、訂正を条件に申請を承認された。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 副反応が発現したときの対応を計画書及び依頼書に明記すること。 2. 依頼書に副反応の治療費は観音寺研究所が負担する事を明記すること。 3. 依頼書にプロジェクトリーダー名、観音寺研究所における責任医師名及び研究責任者名を明記すること。 4. 同意書に同意者の住所、氏名を記入すること。

以 上